

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第160号（7.9.26） 王子公園再整備事業は誰のためのものなのかを明らかにすることを求める陳情
陳 情 の 要 旨	1. 再開発ともいえる王子公園再整備事業は、誰のための事業なのかを明らかにすること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市灘区 「王子公園・市民ミーティング」実行委員会 代表 小 林 るみ子
送 付 委 員 会	建設防災委員会

神戸市議会議長 様

2025 年 9 月 26 日

【陳情者】

神戸市灘区

「王子公園・市民ミーティング」実行委員会
代 表 小 林 るみ子

「王子公園再整備事業は、誰のためのものなのか」を明らかにするための陳情

【陳情趣旨】

現在、全国で、公共空間（公園）の開発が進められている中、『王子公園・市民ミーティング』実行委員会は、行政主導・住民不在の神戸市政に対して「王子公園の未来は市民（みんな）で決める！」と、4年間、住民運動と行政訴訟との両輪で取り組んできました。

酷暑ともいえる今年の夏、懸命に集めた「王子プールをなくさないで！」の署名、12,729 筆を届けました。その署名に託された市民の声について、貴職の中で議論されたのでしょうか。多くの市民の願いが聞き入れられることなく、王子プールは、既に解体されてしまいました。その一方で、代替プールとしてのポートアイランドのプールも、今年の夏は、使用できぬまま、年間約3万人の利用者は“泳ぐ”機会を奪われてしまいました。

さらに、この8月末、70年という歴史ある王子スタジアムが、「ありがとう」の一言で閉鎖されてしまいました。しかも、王子スタジアム営業休止のお知らせの看板には、「この度、王子スタジアムは、建て替えに伴い、2025年8月31日をもって利用を休止させていただきます」と告知されていました。王子スタジアムは、「建て替えするのでしょうか？」「利用を休止するだけなのでしょうか？」王子公園再整備計画のもと、王子スタジアムをも解体され、その地に大学が誘致される計画だとは、到底察することができないものでした。

そして今、「神戸市からのお知らせとして、大学への引き渡しに伴い、園路の一部が令和7年10月1日（水）から通行できません。ご協力お願いします」という看板が、地図とともに、王子スタジアム周辺に、数か所、突然設置されました。何の説明もないまま、神戸市の突然の告知に、市民の怒りが爆発しています。これもまた、広域を対象とした市民への説明もなく、神戸市職員と関西学院大学の職員2名が各自治会長宅だけを回って説明されたと聞いています。このような姑息なやり方に一部の市民だけではなく多くの市民は怒りを禁じえません。公園は誰のものでしょうか、王子公園再整備事業は、いったい誰のためのものなのでしょうか。

【陳情事項】

- 1, 再開発ともいえる王子公園再整備事業は、誰のための事業なのかを明らかにされたい。